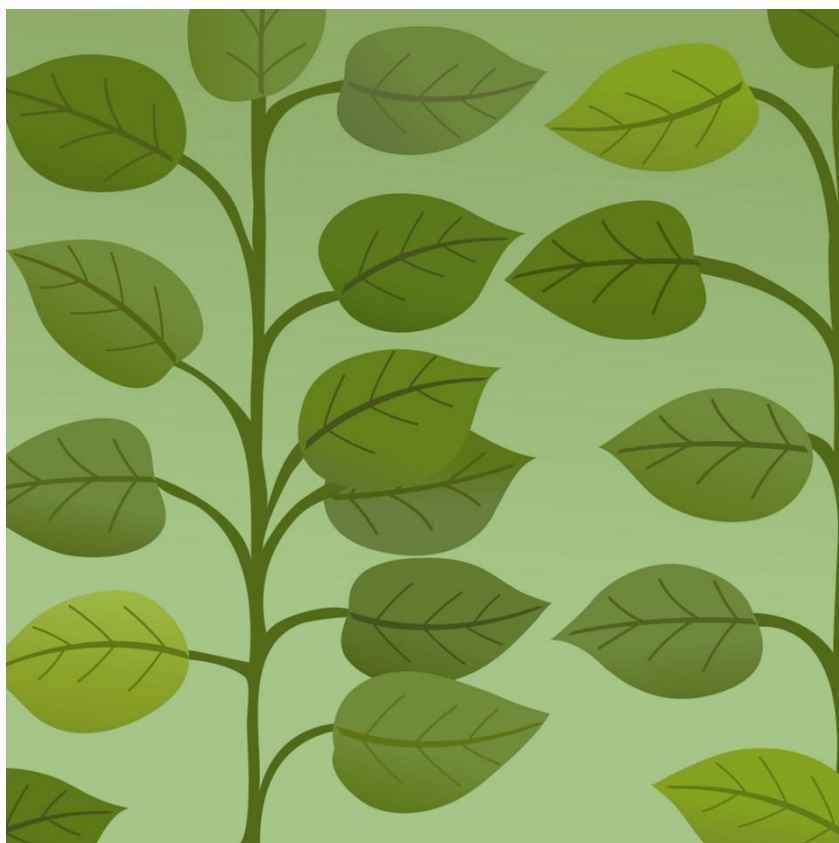


第26回 土壤環境監理士 資格認定試験

受験の手引

受験申込受付期間 令和8年6月1日（月）～7月31日（金）



一般社団法人
土壤環境センター
GEPC Geo-Environmental Protection Center

この手引は受験に必要な手続等が記載されております。熟読し、大切に保管して下さい。

土壤環境監理士の目的

一般社団法人土壤環境センターでは、土壤・地下水汚染の調査・対策事業が適切に推進されるためには、技術のみならず法律および環境保全に関し広い見識を有した人材による監理が必要であると考え、「土壤環境監理士」資格を制定しました。

本資格制度は、土壤・地下水汚染に係る調査・対策等に関する正しい知識・判断力を備え、土壤・地下水環境保全分野で社会に信頼されうる人材を認定すること、を目的とします。また、継続教育の履修を義務付け、この分野での技術の向上と発展に寄与することを目指します。

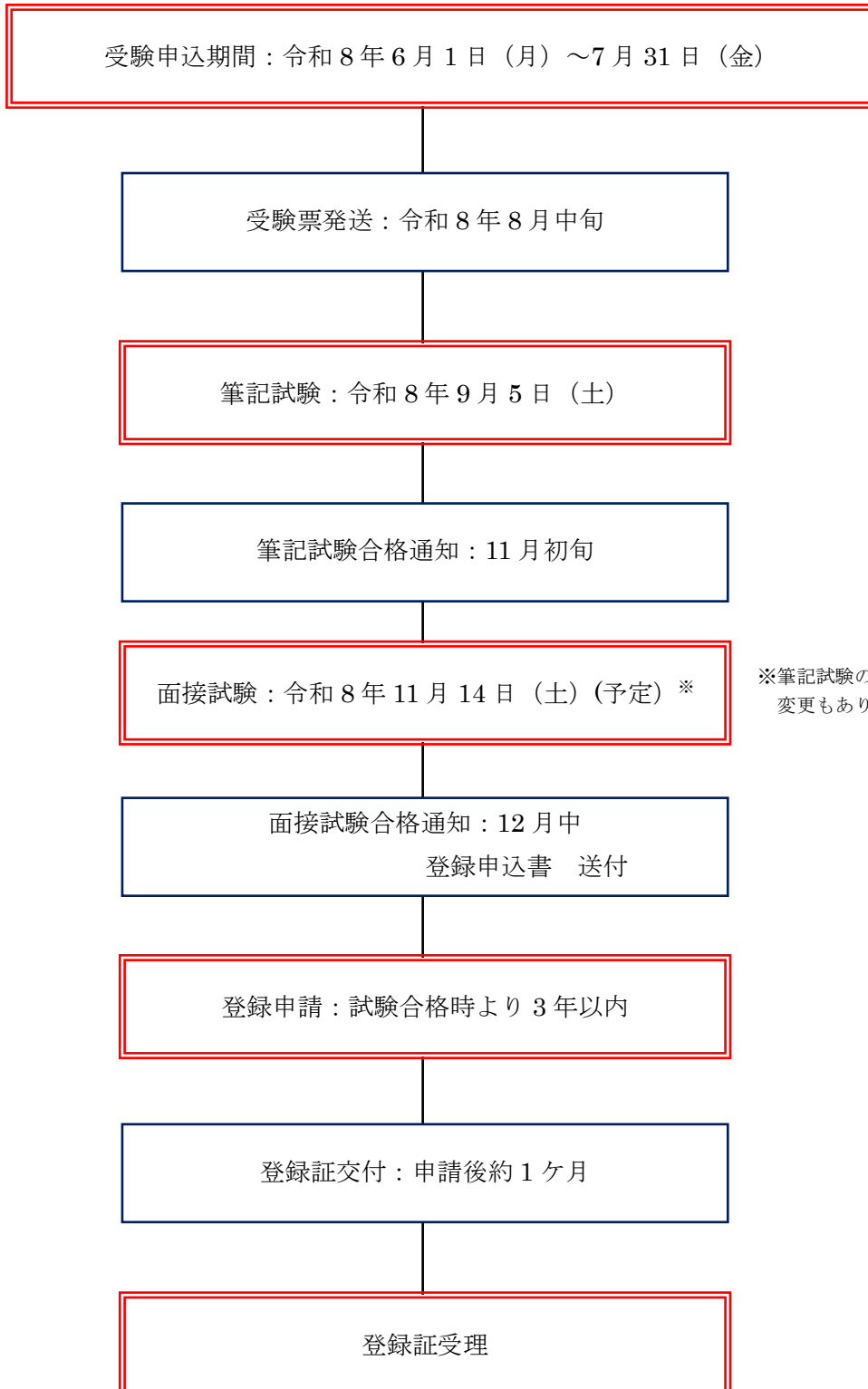
目 次

1. 土壌環境監理士の資格取得まで	1
2. 土壌環境監理士について	2
3. 受験資格	3
4. 試験内容	3
5. 試験日程	4
6. 受験申し込み手続き	4
7. 試験における注意事項	7
8. 合否の通知	7
9. 合格者の登録	7
10. 更 新	8
11. 筆記試験場案内	9
申込書類の作成方法（記入例）	10
提出書類のチェックシート	14

1. 土壌環境監理士の資格取得まで



受験者の役割を示す。



※筆記試験の結果により実施日の変更もあります。

2. 土壤環境監理士について

(1) 土壤環境監理士とは

土壤環境監理士とは、土壤・地下水汚染に係る調査・対策等を適切に監理するため、この分野に関する正しい知識・判断力を備え、技術のみならず法律および環境保全に関し広い見識を有し、社会に信頼されうる人材として一般社団法人土壤環境センターが認定した者をいいます。

(2) 「土壤環境監理士」に必要とされる主な知識・技術

項目	知識・技術のイメージ
安全	現場作業者と周辺環境の安全に配慮できること。
法律	土壤・地下水汚染関連法及び関係する法律等についての知識を有すること。
環境保全	土壤・地下水汚染による環境リスク（健康、生活）の概念について理解していること。土壤・地下水汚染の調査対策実施における周辺環境保全のための手法について理解していること。
基礎知識	水文・水理・地質及び汚染物質等の基礎知識を有すること。
調査	計画：サイトの特性、調査の目的を踏まえた適切な調査計画が立案できること。
	調査実施：調査実施に必要な機器を知っており、適切な調査・分析方法が選定できること。
	評価：汚染実態等に関して適切な判断ができること。
対策	計画：条件（費用配慮、環境配慮を含める）に応じた適切な対策手法を立案できること。
	対策実施：対策工法についての必要な知識を有すること。
	評価：浄化完了を適切に確認できる知識を有すること。
コミュニケーション	住民、施主、施工者、行政とのコミュニケーションをとる方法について知識を有すること。

(3) 土壤環境監理士の職責（土壤環境監理士資格制度規程より）

土壤環境監理士の職責として、次の4つがあります。詳しくは、一般社団法人土壤環境センターホームページを参照して下さい（<https://www.gepc.or.jp/shikaku-info/kanrishi-kitei2017.pdf>）。

- ア 信用の保持
- イ 秘密の保持
- ウ 公益の確保
- エ 資質の向上

3. 受験資格

土壤環境監理士資格認定試験の受験には、令和8年5月31日において、次に示す(1) 実務経験と(2) 資格等を同時に満たしていることが受験資格となります。

(1) に示す実務経験 及び (2) に示す資格等に該当していることが必要です。

(1) 実務経験

- ア 土壤・地下水汚染の調査・対策に関する実務経験が3年を超える者
- イ 大学院の土壤・地下水汚染調査・対策の研究期間が3年を超える者
- ウ ア及びイの期間の合計が3年を超える者

(2) 資格等

- ア 土壤汚染対策法で定める技術管理者試験合格者
- イ 技術士登録者であって、次に定める技術部門・選択科目の者
 - ① 建設部門（選択科目：「土質及び基礎」又は「建設環境」）
 - ② 応用理学部門（選択科目：「地質」）
 - ③ 環境部門（選択科目「環境保全計画」又は「環境測定」）
 - ④ 衛生工学部門（選択科目：「廃棄物管理」）

なお、技術士の技術部門、選択科目で統合、名称変更等があったものは、現技術士制度に引き継がれた技術部門、選択科目に読み替えるものとします。

- ウ 水質関係第1種公害防止管理者試験の合格者
- エ 土壤・地下水汚染に関する研究で学位を得た博士号（工学）取得者
- オ 一般社団法人土壤環境センターの土壤環境保全士の資格を継続して6年以上保有している者

4. 試験内容

(1) 筆記試験

前述2.(2)「土壤環境監理士」に必要とされる主な知識・技術を有することを確認します。

筆記試験の解答はすべて記述式です。解答文字数は、問題により異なりますが、1つの設問について400字～1,200字とします。試験全体では概ね3,600字です。

(2) 面接試験

筆記試験合格者に対し、口頭試問により土壤環境監理士にふさわしい経験と業務遂行能力を有しているかを確認します。

5. 試験日程

筆記試験： 令和8年9月5日(土) 13時00分～17時00分
当日は、試験開始前に注意事項を説明しますので、12時45分までに入室して下さい。
東京都千代田区麴町4丁目5番地 KSビル3階
一般社団法人 土壤環境センター

面接試験： (筆記試験合格者対象)
令和8年11月14日(土) (予定)
場所・時間については、筆記試験の合格通知時に通知します。

6. 受験申し込み手続き

受験申し込みの際には下記の書類を申込用封筒(角 2 : A4 書類用)に同封して提出して下さい。

(1) 提出書類

提出書類作成上の注意をよく読んで作成して下さい。

提出前には、提出書類チェックシートをご利用のうえ不備の無いことをご確認下さい。

ア 受験願書

イ 業務経歴書

ウ 業務経験書

エ 指定資格の登録証等の写し (コピーで結構です)

- ・ 土壤汚染対策法で定める技術管理者試験合格証 または 技術管理者証
- ・ 技術士登録証
- ・ 水質関係第1種公害防止管理者試験合格証 または 登録証
- ・ 博士号登録証
- ・ 一般社団法人土壤環境センターの土壤環境保全士認定証

オ 写真票 (写真貼付)・銀行振込票貼付票

カ 郵政はがき 1枚<受験票になります>

※ご自分の住所、氏名を記入して下さい。

キ 返信用封筒(長形3号 : 120mm × 235mm 1通)

※ご自分の住所、氏名を記入し、110円切手を貼って下さい。

(2) 書類提出先

ア 提出先：一般社団法人土壤環境センターへ郵送(簡易書留)とし、窓口では受け付けません。

イ 令和8年7月31日までの消印があるものが有効です。

ウ 受験票は令和8年8月中旬までに発送する予定です。令和8年8月17日を過ぎても到着しないときは一般社団法人土壤環境センター資格制度事務局 (TEL 03-5215-5955)

まで照会して下さい。

- エ 受験票は、試験当日には必ず持参して下さい。持参しない場合は受験できないことがあります。

(3) 提出書類作成上の注意

受験申込書類は、一般社団法人土壌環境センターのホームページより入手し印刷のうえ、注意事項及び記入例を熟読のうえ正しく記入して下さい。

申請書類は、手書きまたはコンピュータで必要事項を入力・印刷し署名して頂くことができます。手書きの記入や署名は黒または青のボールペンを用い、楷書で丁寧に書いて下さい。必ず受験者自身が記入して下さい。また、この申込書の記入事項を偽って受験すると、合格を取り消されますので注意して下さい。

なお、受験申込書類は面接試験においても試験員が使用します。

1) 受験願書

- ア 受験願書の各項目をもれなく正しく記入して下さい。記入不備の場合は、受験できません。
- イ 年月日は受験申込者が受験願書を作成した日を記入して下さい。
- ウ 氏名は戸籍上の氏名を姓と名を分かち書きし、フリガナを付け、必ず捺印して下さい（通称、ペンネームは不可）。
- エ 性別は該当を○で囲んで下さい。
- オ 現住所、勤務先所在地は記入例にしたがい、正確に記入して下さい。勤務先の名称は、カタカナ併記として下さい。

2) 業務経歴書

- ア 業務経歴書には土壌・地下水汚染関連業務に従事した合計年数が 3 年を超える期間であることがわかるように記入して下さい。
経歴書が 1 枚で足りないときは、複写して使用して下さい。
- イ 経歴の証明
勤務先等の証明権限を有する役職者から証明（公印）を受けて下さい。[※]証明権限を有する役職者は、一般企業では代表権を有する者又は証明権を委譲された者、官公庁では局長、部長、所長等です。現在、勤務していない場合は、最終勤務先の事業主等の記名・捺印をもらって下さい。
なお、経歴書を複写して使用した場合は、複写した経歴書にも記名・捺印が必要です。

※) 土壌汚染対策法に基づく技術管理者証の交付を受けている方は、技術管理者証の写しを添付していただければ、業務経歴書に証明権限を有する役職者から証明（公印）を受ける必要はありません。

3) 業務経験書

業務経験書は、面接の資料として用いますので、できるだけ詳細に記述して下さい。

ア 業務経験書には、あなたの行った代表的な土壌・地下水汚染調査・対策に係る業務の内容について、3つまで記入して下さい。内容は、記入例を参考に「対象とした土地の状況」、「対象とした有害物質」、「自らが実施した業務の内容」等が具体的に分かるように記入して下さい。

秘密保持上問題のある固有名詞等の使用は避けていただいで結構です。

イ 経験の証明

受験者本人の署名が必要です。

4) 受験料

18,850 円（消費税 10%含む）

ア 受験料は最寄りの銀行から一般社団法人土壌環境センター（下記）の銀行口座に振り込んで下さい。銀行振込以外の手続きは受け付けません。

イ 振込手数料は振込者が負担して下さい。

ウ 銀行口座に振り込み時の「振込金受取書（兼手数料受取書）」、または、ATM での「ご利用控」のコピーを振込金受取書貼付票の所定の位置に糊で貼り付けて下さい。

エ 振込金受取書のコピーが貼り付けされていない受験願書は受け付けませんので注意して下さい。受験料の領収書は発行いたしません。

オ 納入された受験料は理由の如何を問わず返還いたしません。

* 国家公務員あるいは地方公務員の方の受験料は、免除といたします。（詳細は当センターにお問い合わせ下さい。）

振込先 三菱 UFJ 銀行 三田支店
普通 0010312
一般社団法人土壌環境センター監理士口

5) 銀行振込票貼付票

ア 一般社団法人土壌環境センター指定の銀行口座へ受験料を振り込んだ「振込金受取書（兼手数料受取書）」、または、ATM での「ご利用控」のコピーを所定の用紙へ糊で貼り付けて下さい。

イ 入金を確認された方にのみ受験票を送付いたします。

6) 写真票

写真は、申込前 6 ヶ月以内に撮影した胸から上部の脱帽・正面の顔写真(縦 4 cm×横 3 cm)鮮明なものを用い、裏面に氏名、生年月日を記入し、所定の位置に全面糊で貼り付けて下さい（不鮮明な写真、サングラス着用の写真は不可）。

7) 郵政はがき（1枚：85円）

住所（願書記載の現住所）、氏名を記入して下さい。

※受験票として受験番号を記入し、返送します。

※住所は、確実に受験票を受けとれる住所表記として下さい。

8) 返信用封筒

長形3号 120mm × 235mm（1通）をご用意下さい。

※試験結果通知書を受験者に送付する封筒です。

※住所、氏名を記入し、110円切手を必ず貼って下さい。

7. 試験における注意事項

- ア 注意事項の説明等を試験開始の15分前から行いますので、それまでに必ず入室して下さい。
- イ 試験当日は必ず受験票を持参して下さい。
- ウ 建物内での喫煙、飲食は禁止します。（ただし、受験室内でのペットボトル等の利用は許可します。）
- エ 筆記用具としてHB又はBの鉛筆もしくはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削りを持参して下さい。
- オ 計算機（四則演算機能のみのもので、関数電卓は不可）、定規は使用できます。
- カ 試験中は携帯電話の電源を切って下さい。時計として使用することもできません。
- キ 不正な手段を用いたものは即刻試験を中止して退場させます。
- ク その他、係員の指示に従って下さい。

8. 合否の通知

筆記試験：11月初旬にお知らせします。合格水準は概ね60%です。

面接試験：合格者には、12月中に合格通知および登録申込書を発送いたします。

また、土壤環境センターのホームページにも合格者の番号を掲載します。

URL：<https://www.gepc.or.jp/>

不合格者にもその旨通知します。

9. 合格者の登録

(1) 登録受付期間

試験合格時より3年以内とします。

(2) 登録証

（一社）土壤環境センター認定として登録した者には、登録証を発行し、「土壤環境監理士」

の称号を付与します。登録料は 10,470 円（消費税 10%含む）です。

なお、試験に合格しても登録をしないと、「土壌環境監理士」を称することはできません。

10. 更 新

（１）登録の有効期間

登録の有効期間は、合格時から 3 年間とし、以降 3 年毎の更新が必要となります。

更新しない場合は、資格停止となります。資格停止が 3 年続くと、資格は失効します。

（２）登録更新の申請

ア 登録の更新には登録期間中に土壌環境監理士としての活動の中で、「自己研鑽」が必要となり、以下に示す①または②のいずれかの要件を満たす必要があります。

①土壌環境センターが主催、共催、後援、協賛するなど、センターが関与協力しているセミナー、講習会、ワークショップ、報告会、発表会への参加または出版物等の執筆発表等でセンターが認めたもの（以下、「センター関与セミナー等」という。）またはセンターがこれらと同等と認めたもの（以下、「センター認定セミナー等」という。）に資格登録後または前回更新後に 3 回以上参加（聴講、発表、投稿すること）する。

②センター関与セミナー等またはセンター認定セミナー等に 2 回参加し、かつ、環境省が主催する「技術管理者の更新講習」を受講するか、または、センターが指定するレポートを提出する。

ウ 環境省が主催する「技術管理者の更新講習」の受講の確認資料としては、「更新講習の修了証」、または、更新後の「技術管理者証」の写しを保管しておいて下さい。

エ センター認定セミナー等の証明としては、「参加したセミナー等の内容（プログラム名、主催者・共催者、開催日、時間割、演題・内容等）がわかる資料及び、当該セミナー等への受講証明書・参加証明書の写し」を確認資料とします。

オ 登録の更新は、当センターのホームページ「土壌環境監理士登録更新申請書（様式第五）」「土壌環境監理士登録更新のための活動履歴（様式第六）」に必要事項を記入して、上記確認資料（様式第七）とともに提出して頂きます。また、レポート提出を選択される方はセンターが指定するテーマについて記述したレポート（様式第九）もあわせて提出して頂きます。

（３）登録更新手数料

登録更新手数料は、10,470 円（消費税 10%含む）です。

登録更新該当者には、有効期限前に別途ご連絡いたします。

11. 筆記試験場案内

試験場

一般社団法人 土壤環境センター

所在地

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4 丁目 5 番地 KSビル 3 階

案内図



申込書類の作成方法 (記入例)

第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験 受験願書

		受験番号	※		
		※欄には記入しないで下さい。			
一般社団法人 土壤環境センター 会長 殿		〇〇〇〇年 〇月 〇〇日			
私は、土壤環境監理士資格認定試験への受験を希望し、関係書類・受講料を添えて申し込みます。 私は、この受験願書の記載事項が事実と相違がある場合には合格を取消されても異存なきことを誓約します。					
フリガナ	姓	名	印	生年月日(西暦)	性別
	ドジョウ	タロウ	印	1970年2月14日	男 女
氏名 (楷書)	土壤	太郎			
受験資格	資格名称		登録番号	登録年月日(西暦)	
	技術管理者		第〇〇〇〇号	2013年3月24日	
現住所 (連絡先)	フリガナ	トウキョウトミナトクシバ			
		東京都港区芝4丁目4番5号			
	フリガナ	カンキョウマンション			
		環境マンションA棟701号室			
		〒 180 - 0014	TEL FAX	03 -1234 - 5678 03 -1234 - 5679	
E-mail	※半角英数:メールアドレスを入力ください		shikaku@gepc.or.jp		
勤務先	フリガナ	ドジョウカンキョウカブシキカイシャ			
	名称	土壤環境株式会社			
	支店等	東京支店			
	部・課 (科)	環境部 土壤環境課			
勤務先所在地	フリガナ	トウキョウトチヨダクヨウジマチ			
		東京都千代田区麴町4丁目5番			
	フリガナ	ケイエスビル			
		KSビル3階			
	〒 102 - 0083	TEL FAX	03 - 5215 - 5955 03 - 5215 - 5954		

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○受験資格
・資格名称
・登録番号
・登録日
を記入して下さい。

○郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先まで正確に記入して下さい。

○勤務先は、現在自分の所属している部課名まで記入して下さい。

- 受験申し込み6ヶ月以内に写した写真を用いて下さい。不鮮明なもの（スナップ写真等）及びサングラスをかけたものは使用できません。
- なお、写真の裏側に氏名、生年月日を記入し、はがれないよう全面に糊づけして下さい。
- 撮影年月を記入して下さい。

**第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験
写 真 票**

1. 写真は正味の顔写真で6ヶ月以内撮影の鮮明なもの
2. 大きさは縦4cm横3cm枠なし
3. 写真裏面に氏名、生年月日を明記し、全面糊で貼り付け
撮影●●年 ●●月

受験番号 ※

※欄には記入しないで下さい。

フリガナ	ドジョウ タロウ	性 別
氏 名	土 塚 太 郎	<input checked="" type="radio"/> 男 · 女

(きりはなしてはいけません)

**第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験
銀行振込票貼付票 (受験料)**

氏 名	土 塚 太 郎
受験番号 <small>※</small>	

※欄には記入しないで下さい。

糊 づ け

●●銀行

- 必ず個人別に振り込み、「振込金受取書（兼手数料受取書）」、または、ATMでの「ご利用控」のコピーを糊づけして下さい。
- 依頼人（振込人）欄には必ず受験者の氏名を記入して下さい。

○この用紙で書ききれないときは、この様式を複写し、記入して下さい。その場合、別紙にも証明者の印が必要になります。

業務経歴書 記入例			
土壌・地下水汚染に係る業務経歴期間が3年を超える期間を記入して下さい。			
経歴番号	業務経歴	在籍期間 (西暦)	左の在籍期間の内、 土壌・地下水汚染に係る業務期間
①	所属 ○○環境(株) 環境部	2005年4月 ┆ 2006年3月	1年 0 月
	経歴 土壌汚染の対策工事環境関連業務全般		
②	所属 △△調査(株) 工事部	2006年4月 ┆ 2007年9月	1年 6 月
	経歴 環境保全対策工事の現場管理		
③	所属 △△コンサルタント(株) 研究部	2007年10月 ┆ 2007年12月	年 3 月
	経歴 環境対策・応用技術の開発を担当		
④	所属 △△建設(株) 工事部	2008年1月 ┆ 2008年6月	年 6 月
	経歴 環境対策工事の施工管理		
⑤	所属 同上 環境部	2008年7月 ┆ 2009年9月	1年 3 月
	経歴 環境対策・応用技術の開発を担当		
⑥	所属	年 月 ┆ 年 月	年 月
	経歴		
記入期間合計			4年 6 月

証明書		○○○○年 ○月 ○○日
受験者 <u>土壌 太郎</u> の業務経歴は上記に間違いがないことを証明します。		
会社名	土壌汚染 株式会社	[捺印]
役職	代表取締役	
氏名	土壌 花子	[印]

○記入期間合計には記入した実施期間の合計年月を記入して下さい。

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○受験者の氏名を記入して下さい。

○勤務先等の証明権限を有する役職者から証明(公印)を受けて下さい。※)証明権限を有する役職者は、一般企業では代表権を有する者又は証明権を委譲された者、官公庁では局長、部長、所長等です。
 現在、勤務していない場合は、最終勤務先の事業主等の記名・捺印をもらって下さい。
 なお、経歴書を複写して使用した場合は、複写した経歴書にも記名・捺印が必要です。
 ※)土壌汚染対策法に基づく技術管理者証の交付を受けている方は、技術管理者証の写しを添付していただければ、業務経歴書に証明権限を有する役職者から証明(公印)を受ける必要はありません。

○土壌環境監理士に必要なとされる主な技術・知識は「受験の手引」に記載されている通りです。それを踏まえて、あなたの土壌・地下水汚染調査・対策に係る主要な実務経験を3つまで挙げて、業務の期間と概要、あなたの立場・役割を述べると共に、その業務であなたに求められた主な知識・技術について、下の「土壌環境監理士に必要な知識・技術」から該当するものを選んでください（複数選択可）。

○業務経験書は、面接時の評価対象となりますので、明瞭に記載して下さい。

業務経験書 (3つまで)

記入例

業務番号	実務内容	
①	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	【記入例】 〇〇工場の閉鎖に伴う県条例の調査で、〇〇ならびに△△調査を実施した。調査対象物質は●●で、〇×△が基準を超過したため、深度方向調査を計画して実施し、汚染範囲を特定した。
	あなたの立場・役割	〇〇では、△△△という立場で、〇×△業務を行った。△△調査と深度方向調査は、△△△という立場で、〇×△業務を行った。工夫した点は、・・・
	本業務で主に求められた「土壌環境監理士に必要な知識・技術」(複数選択可)	
	安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション	
②	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	〇〇〇〇.....
	あなたの立場・役割	△△△.....
	本業務で主に求められた「土壌環境監理士に必要な知識・技術」(複数選択可)	
	安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション	
③	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	×××.....
	あなたの立場・役割	□□□□.....
	本業務で主に求められた「土壌環境監理士に必要な知識・技術」(複数選択可)	
	安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション	
上記のとおり相違ありません。		〇〇〇〇年 〇月 〇〇日
本人氏名 <u>土壌 太郎</u> (自署)		

○受験者が経験された業務の中で、土壌環境監理士としてふさわしいと思われる業務の技術的概要について具体的にお書き下さい。なお、発注者・サイト名称など固有情報はご記入いただく必要はありません。

○上記の業務において受験者が、担当された内容、果たした役割、および、苦勞や工夫された点についてご記入ください。

○あてはまるものに○印を付けて下さい。

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○受験者本人が記名して下さい。

提出書類チェックシート

年 月 日

氏 名	
-----	--

No	提出書類名称	確認事項	チェック欄
(1)	受験願書	必要事項の記入	<input type="checkbox"/>
(2)	業務経歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・「記入期間合計」の記入 ・経歴年数は3年を超える期間 ・受験者名の記入・会社公印 ※技術管理者証の写しを添付される方は会社公印は不要 	<input type="checkbox"/>
(3)	業務経験書	<ul style="list-style-type: none"> ・記入内容 ・署名欄の自署 	<input type="checkbox"/>
(4)	受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ・登録証等の写し 	<input type="checkbox"/>
(5)	銀行振込票貼付票	<ul style="list-style-type: none"> ・振込金受取書(兼手数料受取書)の貼りつけ ・または、ATMでの「ご利用控」の貼りつけ 	<input type="checkbox"/>
	写真票(写真貼付)	裏面への氏名・生年月日の記入	<input type="checkbox"/>
(6)	郵政はがき 1枚	住所、氏名の記入	<input type="checkbox"/>
(7)	返信用封筒(長形3号: 120mm×235mm) 1通	<ul style="list-style-type: none"> ・住所、氏名の記入 ・110円切手の貼りつけ 	<input type="checkbox"/>

(注)このチェックシートは提出していただく必要はありません。

- ◆ 受験票が令和8年8月17日を過ぎても届かない場合は、必ず下記の当センターまでお問い合わせ下さい。
- ◆ 試験場への交通手段は、電車・バス等の公共機関を利用して下さい。
試験場やその周辺には駐車場の準備がありませんので、自動車・バイクでの来場は固くお断りします。

1. 試験場及びその付近には駐車できません。
路上駐車は地元住民の強い苦情と警察の指導により固く禁じられています。
2. 駐車違反等の呼び出しで試験室を離れた場合は、再入室をお断りします。

第26回 土壤環境監理士資格認定試験

受験の手引

令和8年5月

発行所 一般社団法人土壤環境センター

〒102-0083 東京都千代田区麴町4丁目5番地 KSビル3階

TEL 03-5215-5955 FAX 03-5215-5954

e-mail: shikaku@gepc.or.jp